男子注目！

男性も将来のためにしっかり覚えて

おきましょう。

**ドラッグレター（２０２０年　３月号）**

１年生

妊娠と医薬品　～将来のために～

　妊娠の週数は、最終月経の始まった日を**０週０日**として数えていき、出産の予定日は

**４０週０日**です。妊娠周期によって、医薬品の服用がお腹の赤ちゃん（胎児）に大きく

影響する時期があります。

次の月経予定日

着床

受精

最終月経の

終わり

最終月経の

始まり

０日

妊娠０週

妊娠２週

妊娠５週

妊娠４週

妊娠6週

妊娠１週

妊娠３週

妊娠1ヵ月

妊娠２ヵ月

絶対過敏期

**無影響期**

**無影響期**

|  |  |
| --- | --- |
| （妊娠3週末まで**）** | 胎児に奇形は生じない |
| 　（妊娠4週～7週末まで） | 医薬品の影響で胎児に**奇形が生じやすい最も危険な****時期！！！** |
| 相対過敏期　（妊娠8週～15週末まで） | 胎児に奇形が生じる可能性はあり、**まだまだ注意が必要！** |
| 比較過敏期～潜在過敏期　（妊娠16週～出産） | 胎児に奇形は生じないが、胎児の**成長に影響が出る** |

絶対過敏期

困ったことに、一番危険な絶対過敏期（＝妊娠４週から）は、本来であれば次の生理が始まる週なのです。計画的な妊娠でなければ生理が遅れていると思ってしまい、妊娠していることに気づかず、うっかり医薬品を飲んでしまうかも・・・。将来のためにしっかり理解しておきましょう。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

作成・発行元

**《 －出張相談会－　 保健室に学校薬剤師が来ます 》**

ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など

について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！

**●月 ●日　　●時●分　～ ●時●分**